

— 那須岳の風雲 —

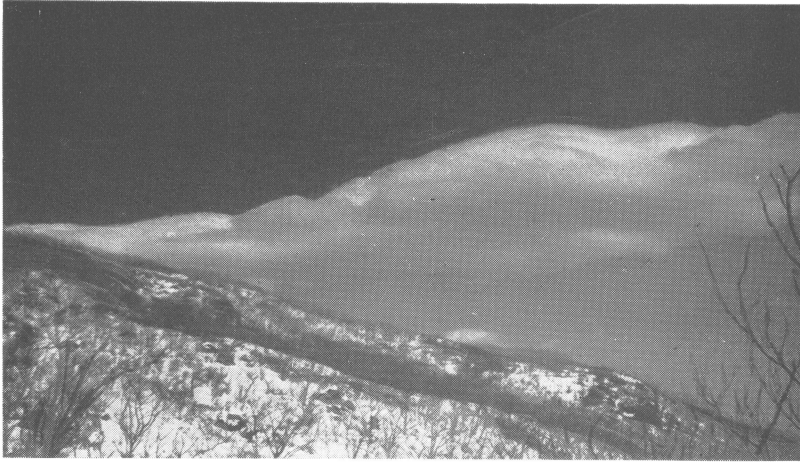


写真 A 13h13m 那須大丸附近より北東方を向いて.



写真 B 13h47m 那須八幡にて.



写真 C 13h52m 那須八幡にて.

1958年3月10日、千島の低気圧より南西にのびる寒冷前線の末端が関東北部を通過したため生じたものらしい。

この種の雲が山全体をおおって発達するような場合であれば山麓の那須野が原はかなりの強風に見舞われることにもなるが、この場合、風雲の規模は小さく、寿命も2時間位で終わっている。

写真 A は、那須大丸附近より NE 方を見たもので、12時過ぎ頃から NW より SE にむかって、のっそりと這い出すように現われた。位置は栃木・福島の県境にあたる浜谷上あたりになる。

写真 B と C は同一雲塊で、A よりも少し遅れて茶臼山あたりに見えたものである。

(撮影と説明)
大田原気象通報所 篠原久男